

One for Children, All for Children

久我山青光学園

学園便り 7月号

校長 田島 忍

令和8年6月30日発行

授業参観への御参加ありがとうございました

副校長 若林 加奈子

梅雨入りとなり、曇りや雨の日が続くとともに、肌寒さを感じる日もあり、夏の訪れが待ち遠しく感じる頃となりました。季節の移り変わりを感じるこの時期は、気温や湿度の変化が大きく、体調を崩しやすくなります。お子様はもちろん、御家族の皆様におかれましても、どうぞ十分に御自愛ください。また、6月には台風の接近に伴い、急な対応に御協力いただきありがとうございました。今後も状況に応じた対応を行ってまいりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、5月22日（金）、23日（土）の授業参観日には、御多用の中、多くの保護者の皆様に御参加いただき、心より御礼申し上げます。二日間の合計で、視覚障害教育部門は145人、知的障害教育部門658人の御参加をいただきました。子供たちも御家族の皆様に見ていただけることを楽しみにし、意欲的に学習に取り組む姿が見られました。今回の授業参観では、日頃の学習の積み重ねを生かしながら、自分なりに考え、表現しようとする子供たちの成長した姿が多く見られました。保護者の皆様に見守られながら活動することで、子供たちの意欲や自信にもつながっていた様子がうかがえました。

授業参観でいただいた御感想や御意見を基に、今後も一人一人のよさや可能性を大切にした教育を進めてまいります。今後も、保護者の皆様と連携しながら、子供たちの成長を支えてまいりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

視覚障害教育部門 中学部 教諭 小林 匠
「体育プールの様子」

6月1日より、本校では水泳の学習を実施しています。授業では、準備運動や健康観察を行った後、シャワーを浴びてから安全に配慮しながら入水しています。水に慣れる活動では、水中を歩いたりバタ足をしたりしながら、少しずつ水の中での動きに親しんでいます。初めは不安そうな様子も見られましたが、回数を重ねる中で笑顔が増え、友達や教員と声を掛け合いながら意欲的に取り組む姿が見られています。現在は、一人一人の実態に応じて活動内容を工夫しながら、水の中で体を動かす楽しさやできたという達成感を味わえるよう指導を進めています。引き続き、安全面や体調管理を第一に、水泳学習に取り組んでまいります。



知的障害教育部門 生活指導部主任

主幹教諭 田中香織

『ふれあい月間』

本校では、6月を「ふれあい月間」として位置付け、幼児・児童・生徒一人一人が安心して学校生活を送ることができるよう、いじめの未然防止や早期発見、よりよい人間関係づくりに重点を置いた取組を進めています。

子供たちは、日々の学校生活の中で、友達や教職員との関わりを通して多くのことを学んでいます。一方で、自分の思いをうまく伝えられなかったり、相手の気持ちに気付くことが難しかったりする場面もあります。私たち教職員は、子供たちの小さな変化やサインを見逃さず、丁寧に受け止めながら、安心できる学校づくりに努めてまいります。

御家庭におかれましても、お子様の表情や会話、登校前後の様子などで気になることがありましたら、些細なことでも担任や学校まで御相談ください。御家庭と学校が連携し、子供たち一人一人の心に寄り添いながら、安心して学校生活を送ることができる環境づくりを進めてまいります。引き続き、御理解と御協力をお願いいたします。